

川崎市の 5歳児個別健診

川崎市小児科医会
片岡 正

川崎市こども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当

東日本外来小児科学研究会 2024.10.6

川崎市の5歳児健診調査

- 1985年から市内の4歳児・5歳児全員を対象とした公費による個別健診がはじまった。
市長の意向にこたえ、医師会執行部、小児科医会、公衆衛生委員会が行政に協力して1年足らずの準備期間で事業開始となる。

市長：最近骨折しやすい子どもが多いと聞いているので体力の強い子供を育てたい。それには第一に母親教育が必要で、主治医による母親教育を主眼とした個別健診を考えている。また3歳時健診から小学校入学前健診までの間は健診の空白時期とも言えるので、その空白期を埋めたい。

- 2008年5歳児健診問診票の見直し

コミュニケーションや社会性で気になるお子さんに気が付く機会として充実させるため

- 2016年乳幼児健診の再構築
個別：3-4か月、7か月、(10か月)、5歳児
集団：1歳6ヶ月、3歳6ヶ月
4歳児は3歳児と統合して、3歳6ヶ月健診として集団に

乳幼児健診の あり方検討委員会

- 2018年～2019年に設置
- 委員構成：川崎市医師会、小児科医会、療育センター
事務局：川崎市こども未来局母子保健担当
- 5歳児健康審査の実施要領作成、問診票、診査票の改定

あり方検討会の委員からの意見(令和元年度)

- ・発達障害が疑われる児童に対して、健診医師が保護者にそのことを伝えきれていないのではないか
- ・健診で療育センターを紹介しても、対気が長い、問題解決にならないという話をよく聞く
- ・療育センタに紹介してそれで終わりという形にさせないことが重要
- ・社会資源を医師が知らない
- ・医師から見ても疑いがあるが、家族が気が付かないことも多く相談専門機関につながりにくい
- ・あきらめないで寄り添いながらの支援が大事
- ・かかりつけ医が経過を観察し、所属での支援や巡回相談等活用していく流れを医師が知るべき
- ・診察のポイント等医師が学べる動画があるとよい
- ・発達障害の出現率は2～15%と言われており、医師の判断に差がある。

川崎市こども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

新5歳児健診へ

あり方検討委員会の委員から(令和元年度)

現在の5歳児健診の問診項目等を見直し、「乳幼児健診事業—東京方式—」「5歳児健診 発達障害の診療・指導エッセンス」等を参考に川崎市版のマニュアルを作成するべき。小児科医会として作成する方向で検討したい。



第2回あり方検討委員会

- ・だいたい身体疾患は発見されているので、5歳児健診のポイントは主に発達面の観察である。
- ・小児科専門医だけでなく、家庭医でも対応できるように内容にする必要がある。
- ・来年度大きく問診票等を変更し、**その後は従事する医師らの意見を受けて何度か修正していこう。**
- ・5歳児健診で他害があるなど偏りが顕著でもまだ相談できていない方もいる。そういった方に突然障害ですとは言えないため、**保護者の困り感を確認するために健診を活用できるとよいのではないか。**
- ・異常とまでは言えなくても、学校入学を前にした健診として、学校生活への適応性も確認し、地域みまもり支援センターや総合教育センターへつなげるとよい。
- ・**健やか子育てガイド5歳版**を今回作成し、これをもとに健診結果について各医院でアドバイスをしてもらいたい。
- ・区の保健師等へも新しい問診票・診査票に基づいた5歳児健診や事後フォローについての研修を行ってほしい。



令和3年6月 新5歳児健診の開始

川崎市こども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

発達評価に重心を置いた実施要項

- 質問表にそった会話のやりとりでコミュニケーションの発達をみる
- 片足立ち、腕の回内回外、閉眼起立、じゃんけん、しりとりなどは、実際に目の前でやらせてみる
- 非定型発達特性の「気づき」5歳児健診では「軽度の発達障害」の気づきが重要
- 保護者に「気づき」の灯りをともす「発達面での二次健診」で保護者の理解を深める
- 支援的な経過観察「〇〇診断疑い」など診断名を継げるのではなく、困りごとの解決に向けた経過観察を
- 専門医・支援機関へのつなぎ個々の医療機関によって、対応できるレベルがことなる。各区に設置された、こども発達相談センター（きょうすけサポート）につなぐことも重要

新5歳児健診の問診票

5歳児健康診査 問診票 1

ふりがな	
お子さんの氏名	
父 姓 氏名	母 姓 氏名
住所 戸籍市 区	
連絡先電話番号	
母親の 口先 口唇 口唇炎 口角炎	歯 口歯肉
家族構成	口その他
家族の 職業・職業に問題がある	
健康状態	ほか どの様な
主な保護費	ほか
お転園	通園している (園名)
お転園	通園していない 保育園・幼稚園
既往歴	1. 発熱 (注1) 2. 風しん 3. 百日せき 4. 水痘 (水ぼうそう) 5. おたふくかぜ 6. けいれん 7. 気管支ぜんそく 8. アトピー性皮膚炎 9. 骨折 10. その他

1. 次の質問に対して当てはまる方の答えに○をつけ、その内訳を記入してください

1. 今年までに何か重い病気や大きなけが (けが・骨折・やけどなど) をしましたか
はいの場合 内訳

2. 今年までの健診で何か指摘されましたか
はいの場合 内訳

3. 起床・寝床時を起入してください 起床 (季節 時 分) ころ 寝床 (季節 時 分) ころ
4. 朝食は毎日食べますか はい 時々食べない はい ほとんど食べない
5. 食事やおやつは時間通りに食べていますか 決まっています 決まっていません
6. 毎日お風呂に入りますか はい 時々入る はい ほとんど入らない
7. 1人で洋服を着たり脱いだりできますか できない 時々できる (日 時間) 毎日できる (日 時間)
8. 目が眩いという心配がありますか はいの場合 内訳
9. 耳の聞こえが悪いという心配がありますか はいの場合 内訳
10. ウンチをした時、自分でふけますか はい いいえ
11. 一人で言葉をしゃべり聞かずにできますか はい いいえ
12. 話し方で相手がわかることがありますか (どまり、通ちん言葉、聞きがたしいなど) はい いいえ
13. 保育園や幼稚園で友達との関わりがうまくいっていると思いますか はい いいえ ときどき とも当てはまる
14. 眠っている、「ごそごそ」として何事も寝てますか はい いいえ ときどき とも当てはまる
15. 同年代の子とより一人で遊んでいることが多くなりますか はい いいえ ときどき とも当てはまる
16. ある特定の経験や出来事について話さず、しゃべりかたがかわりますか はい いいえ ときどき とも当てはまる
17. 予定が変わるときには前もって言っていないと大騒ぎすることがありますか はい いいえ ときどき とも当てはまる

作成日時 3.8.1

5歳児健康診査 問診票 2

お子さんの氏名 (ふりがな) ()

Ⅲ. 今の状態について、はい、いいえ、不明に○印をつけてください

注) まねて真似がわかる はい いいえ 不明
 得意な声で正しく言葉をわかる はい いいえ 不明
 ジョーケンやカードゲームがわかる はい いいえ 不明
 数字の読み方がわかる (ひまで) はい いいえ 不明
 顔で思ったことを話してくれる はい いいえ 不明
 両手の指名 (指先と名前) をいう はい いいえ 不明
 はつかりと自分の名前 (名字と名刺) を言う はい いいえ 不明
 注) 相手の顔を見てから相手の名前を言う はい いいえ 不明
 顔では集団での後姿を認識し、伝える はい いいえ 不明
 ごっこ遊び、交互あそびを他の子とできる はい いいえ 不明
 順番を守って行動する はい いいえ 不明
 注) 両手両足を動かせる はい いいえ 不明
 プラクラフトができる はい いいえ 不明
 ボタンのかけつけができる はい いいえ 不明
 紐を縫ってボタンを縫える はい いいえ 不明

Ⅳ. お子さんの自覚の行動についてお尋ねします

・ 自覚の行動について保健師や保護者の先生に指摘されたり、ご家族の方が気になることがありますか はい いいえ

・ 「はい」と答えたいとお尋ねします。それはどのような行動ですか ()

・ その行動によりお子さま自身の生活や身の回りの方の生活に影響が生じていますか 全く生じていない 少し生じている 大いに生じている

Ⅴ. 保護者への質問です。当てはまる方の答えに○をつけてください

注) よく聞かれますか はい いいえ
 注) お子さんをお見たい時に返事がないと驚いたことがありますか はい いいえ (たまに、ときどき、いつも)
 注) お子さんと一緒にいるとイライラすることがありますか はい いいえ (たまに、ときどき、いつも)
 注) 保育園では楽しいですか はい どちらでもない いいえ
 注) お子さんが学校に行くのが楽しみですか はい いいえ

Ⅵ. その他、何か相談したいことがありますか
あれば記入ください (治療、発達、しつけ、うんち・おしっこ、食事、くせなど)
()

作成日時 3.8.1

新5歳児健診の審査票

5歳児健康診査 診査票

健診年月日 年 月 日 (満5歳 か月)

幼児氏名 男・女 年 月 日生 第 子

保護者氏名 住所 川崎市 区 連絡先電話番号

*この下は、記入しないでください。(医療機関使用用)

【予防接種】 <接種もしていないものに○> すべて接種済みの場合は「済」に○>
定期: Hib・肺炎球菌・HBV・4種混合・BCG・MR (1回目)・水痘・日本脳炎 (3回目まで) / 済
任意: おたふく・ロタ/済

【一般診察】 (90) 体重 kg 肥満度評価: -20%以下、-20%超-15%以下、-15%超+15%未満
計測 +15%以上+20%未満、+20%以上+30%未満、+30%以上
計測 (91) 身長 cm 身長評価: -2SD以下、標準、+2SD以上

診察項目 異常の有無 異常の種類
皮膚 なし あり (20) 湿疹 (17) 貧血 (19) 血管腫 (18) 色素異常 (21) その他 ()
胸・腹部 なし あり (22) 心雑音 (40) 腸管異常 (23) (27) その他 ()
外陰部 なし あり (11) せいはいヘルニア (13) 痔瘻腫瘍
眼 なし 疑 あり (42) 視力0.7以下 (右・左) (43) 斜視異常 または (42) (43) スポット
ビジュスタクレーター () (47) その他 ()
耳・鼻・咽頭 なし 疑 あり (46) 聴覚 (51) 扁桃肥大 (53) その他 ()
その他 なし あり (15) その他 ()

【保健チェック】 (80) 運動自 (- + ++ +++) (82) 言語自 (- + ++ +++)

【保健チェック】 (あてはまるものに○)
診察 協力的 非協力的 (抱かす 落ち着かない 無関心 ほか含む その他)
会話のやり取り 成立する 成立しない (答えない 答えがずれる 勝手にしゃべる)
視線 合う 合わない
片足立ち (左、右、3秒以上) できる できない
片足ケンケン (左、右、5回以上) できる できない
両腕の回内・回外運動 (左、右) できる できない
ジャンケン勝負3回 3回ともわかる 1回も分からない その他
しりとりする (3音以上) できる できない
いよいよまで目をつぶってください (20秒以上、自己判断なし) できる できない

・発達評価 (50) 知能・認知 (74) コミュニケーション (61) 社会性 (64) こだわり (乳に依る項目に○) (69) 行動制御 (72) 情緒行動 (66) 協調運動 (56) 身体自立 (73) その他 ()

【育児】 1 2 3 4 5

【総合判定】 1 異常を認めず 2 助言指導 (番) 3 要観察 (番)
4 要2次検診 (番) 5 要医療 (番) 6 治療中 (番)
7 医療機関紹介 (番) 8 相談機関の利用の勧め (番)

9 保育所・幼稚園への相談の勧め (番) 10 地域まもり支援センターへの連絡事項 (有 無)

※この審査票は機密情報となります。内容について説明できません
※この審査票は医療機関でしか使用できません
※記入欄の取り方については印刷用記入欄の取扱いに準じます
医療機関等により取扱いが異なります。

医療機関名・医師名

市健診課 第4

1985年版

1985年版

D 計測

体重 (1 90P以上 2 90-10P 3 10P以下)

身長 (1 90P以上 2 90-10P 3 10P以下)

項目 異常の有無 異常の種類 備考

E 診察

ア 形 容 異常 なし あり (11) 大小頭 (6) 胸部 (7) 首輪 (8) 四肢 (9) せいはいヘルニア (10) 痔瘻腫瘍 (12) その他 ()

イ 皮 膚 なし あり (20) 湿疹 (17) 貧血 (19) 血管腫 (18) 色素異常 (21) その他 ()

ウ 胸 部 なし あり (22) 心雑音 (40) 腸管異常 (23) (27) その他 ()

エ 腹 部 なし あり (11) せいはいヘルニア (13) 痔瘻腫瘍 (12) その他 ()

オ 運動、精神発達 なし 疑 あり (42) 視力 (43) 斜視 (47) その他 ()

カ 眼 なし 疑 あり (46) 聴覚 (51) 扁桃肥大 (53) その他 ()

キ 耳 なし 疑 あり (46) 聴覚 (51) 扁桃肥大 (53) その他 ()

ク その他 なし あり (15) その他 ()

尿検査 蛋白半定量 -- 土 + 計 冊
糖半定量 -- 土 + 計 冊
潜血半定量 -- 土 + 計 冊

総合判定 1 異常を認めず
2 要経過観察 (番)
3 要2次検診 (番)
4 要医療 (番)

健診年月日 年 月 日 医師 (印)

2008年改訂版

2008年改訂版

5歳児健康診査票 健診年月日 年 月 日

幼児氏名 男 女 年 月 日生 第 子

住所 区 電話 家庭 1 一戸建 2 集合住宅 (階)

保護者家族 父: 歳 1 健康 2 病気 () 職業 ()
母: 歳 1 健康 2 病気 () 職業 ()
兄弟: 人 1 健康 2 病気 () 職業 ()
主な保育者 登 () 夜 ()

既往歴 1 麻疹 2 風疹 3 百日咳 4 水痘 5 流行性耳下腺炎 6 けいれん 7 ゼン息 8 アトピー性皮膚炎 9 発熱 10 その他 ()

予防接種 (済○) 1 BCG 2 Hib (1-2-3-4) 3 小児用肺炎球菌 (1-2-3-4) 4 三種混合 (1-2-3-追加) 5 B型肝炎 (1-2 不活化、1-2-3-追加) 6 風疹・ムンプス (1期) 7 日本脳炎 (1-2-追加) 8 麻疹肺炎 9 ロタ 10 水痘 11 おたふくかぜ

計測 (90) 体重 kg (91) 身長 cm
計測 (1 90P以上 2 90-10P 3 10P以下) (1 90P以上 2 90-10P 3 10P以下)

項目 異常の有無 異常の種類

全 身 なし あり (95) 肥満 (96) くい癩 (97) 体重増加不良 (98) 低身長 (15) その他 ()
皮 膚 なし あり (20) 湿疹 (17) 貧血 (19) 血管腫 (18) 色素異常 (21) 感染症性皮膚腫 (22) その他 ()
頭面部・顔面 なし あり (1) 大小頭 (2) 斜視
胸 部 なし あり (22) 心雑音 (40) 不整脈 (6) 胸部異常 (71) 呼吸の異常 (23) その他 ()
腹 部 なし あり (24) 肝臓大 (25) 脾臓大 (27) その他 ()
外 陰 部 なし あり (11) せいはいヘルニア (13) 痔瘻腫瘍
背 部・四肢 (7) 首輪 (8) 四肢 (9) 股関節
所 見 眼 なし 疑 あり (42) 視力障害 (43) 斜視 (47) その他 ()
耳・鼻・咽頭 なし 疑 あり (46) 聴覚 (51) 扁桃肥大 (52) アダノイド (53) その他 ()
発 達 なし 疑 あり (54) 運動 (相対、絶対) (50) 認知 (55) 言語 (61) 社会性 (56) 生活習慣 (64) その他 ()
その他 なし あり (34) その他 ()

尿検査 (80) 蛋白半定量 -- 土 + ++ +++
(81) 糖半定量 -- 土 + ++ +++
(82) 潜血半定量 -- 土 + ++ +++

28.3

川崎市の乳幼児健診

健診名称	受診場所（令和5年末時点）	対応年齢
【新規】1か月児の健診※	市内及び市外の協力医療機関	令和7年1月以降（生後27日から6週未満）
3・4か月児健診（個別）	市内協力医療機関（164機関）	生後3か月15日～4か月15日
7か月児健診（個別）	市内協力医療機関（184機関）	生後7か月の前後15日以内
10か月児健診（個別）	市内協力医療機関	6・7か月児で医師がフォローと判定した者
1歳6か月児健診【法】	区役所地域みまもり支援センター（7か所）	1歳6か月～1歳8か月
3歳児健診【法】	区役所地域みまもり支援センター（7か所）	3歳6ヶ月～3歳8か月
5歳児健診（個別）	市内協力医療機関（194機関）	5歳0か月～5歳2か月



川崎市こども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

協力医療機関数の推移

	協力	3～4か月児	7か月児	5歳児
令和6年度	182	156	165	176
令和5年度	177	149	163	175
令和4年度	185	153	171	182
令和3年度	187	153	172	185
令和2年度	192	157	178	190
令和元年度	190	154	175	189

川崎市医師会

集団健診の受診

1歳6か月児	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,550	12,888	12,624	11,836	11,344
受診者(人)	13,116	12,685	12,210	11,551	11,043
受診率(%)	96.8%	98.4%	96.7%	97.6%	97.3%

3歳児	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,752	12,935	12,962	12,296	11,731
受診者(人)	12,948	12,751	12,340	11,924	11,334
受診率(%)	94.2%	98.6%	95.2%	97.0%	96.6%

個別健診の受診

3か月児	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,454	12,912	12,412	11,627	11,420
受診者(人)	13,100	12,455	11,965	11,316	10,991
受診率(%)	97.4%	96.5%	96.6%	97.3%	96.2%

7か月児	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,545	13,008	12,323	11,836	11,325
受診者(人)	13,134	12,621	11,903	11,442	10,913
受診率(%)	97.0%	97.0%	96.6%	96.7%	96.4%

10か月児	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,545	13,008	12,323	11,836	11,325
受診者(人)	1,495	1,748	1,958	1,800	1,760
受診率(%)	11.0%	13.4%	15.9%	15.2%	15.5%

5歳児一次	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,458	13,558	13,171	12,660	12,020
受診者(人)	11,148	11,719	11,308	10,808	10,318
受診率(%)	82.8%	86.4%	85.9%	85.4%	85.8%

川崎市子ども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

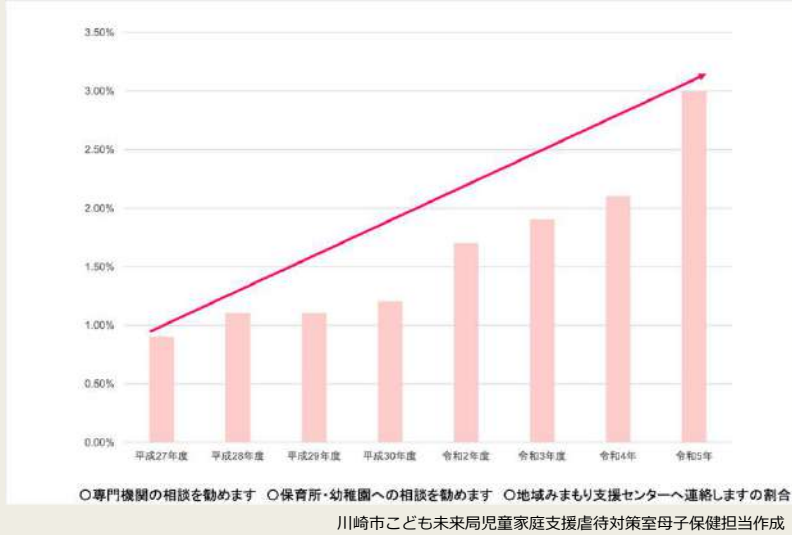
5歳児健診の結果

保健指導要法	目標数	実績	達成率	目標数	実績	達成率	目標数	実績	達成率
異常を認めない	808	909	1387	1245	1367	846	798	7360	68.1%
助産指導	65	58	97	54	50	58	58	440	
今後も経過を見ましょう	53	47	47	84	82	87	43	443	
2次健診を受けましょう	184	169	252	150	145	164	128	1192	
治療が必要です	24	28	29	29	21	15	15	161	
現在治療中です	84	104	163	99	106	97	65	738	
医療機関を紹介します	32	55	47	59	24	34	22	273	
相談機関の利用を勧めます	20	28	27	25	11	17	15	143	
保育所・幼稚園への相談を勧めます	26	8	6	3	1	15	1	60	
地域みまもり支援センターへ連絡します	6	6	2	2	4	3	1	24	
	1302	1412	2057	1750	1811	1336	1166	10834	2.1%

保健指導要法	目標数	実績	達成率	目標数	実績	達成率	目標数	実績	達成率
異常を認めない	764	818	1207	1011	1366	849	820	6842	65.8%
助産指導	70	48	77	29	30	45	38	337	
今後も経過を見ましょう	68	43	56	97	67	73	27	431	
2次健診を受けましょう	161	269	295	223	100	183	120	1351	
治療が必要です	18	20	26	17	26	30	19	156	
現在治療中です	70	103	160	82	107	101	87	710	
医療機関を紹介します	45	57	37	45	35	22	19	200	
相談機関の利用を勧めます	11	34	25	24	90	98	19	219	
保育所・幼稚園への相談を勧めます	13	5	2	4	0	24	12	60	
地域みまもり支援センターへ連絡します	7	13	1	10	1	5	0	37	
	1217	1407	1886	1542	1842	1348	1161	10403	3.0%

川崎市子ども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

5歳児健診 専門相談機関 などへの紹介者の割合



二次健診の実施

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者(人)	13,458	13,558	13,171	12,660	12,020
受診者(人)	960	1,124	1,293	1,252	1,409
受診率(%)	7.1%	8.3%	9.8%	9.9%	11.7%

対象者(人)	受診者数(人)	受診率(%)	受診者内訳(人)		異常ありの内訳(症べ人数)	
			異常なし	異常あり	実観察	要医療
総数	12,660	1,252	910	342	334	8
川崎	1,612	108	63	45	45	0
幸	1,605	201	145	57	57	0
中原	2,435	352	260	92	89	3
高津	1,977	169	137	32	32	0
宮前	2,084	124	98	26	24	2
多摩	1,567	182	124	37	35	2
藤生	1,380	136	83	53	52	1

氏名	性別	年齢	検査項目	結果
田中 太郎	男	5歳	尿糖	陰性
田中 太郎	男	5歳	尿糖	陰性
田中 太郎	男	5歳	尿糖	陰性

川崎市子ども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

- 二次健診となるのはほとんどが検尿
- 小児科医会としてはSDQの実施など踏み込んだ介入をわかりつけ医療機関で二次健診として行えることを想定していた

小児科医会役員による健診 結果の再集計

鈴木隆久名誉会長

川崎市5歳児健診と川崎市小児科医会役員の結果比較

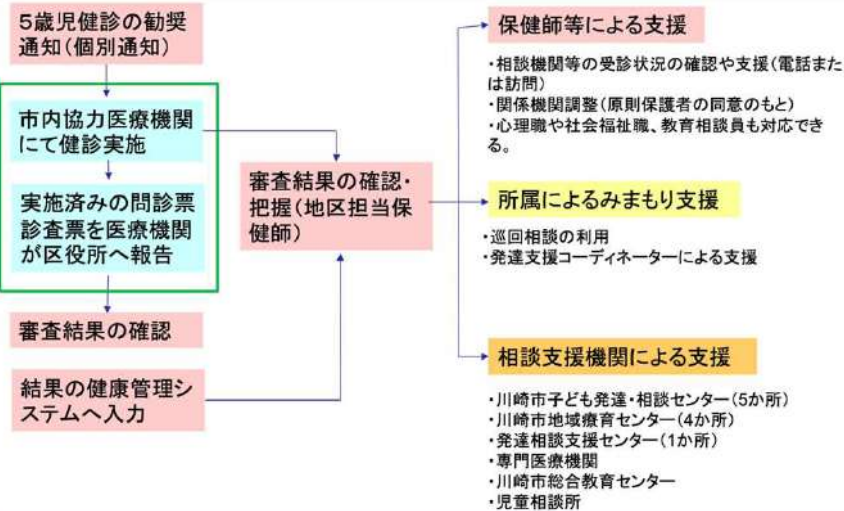
	異常なし	助言指導	経過観察 必要	2次検診	治療が必 要	治療中	医療機関 紹介	相談機関 の利用助 め	保育所・ 幼稚園相 談	みまもり 支援セン ター
川崎市令 和5年度	65.8	3.2	4.1	13.0	1.5	6.8	2.5	2.0	0.6	0.4
医会役員 全体	58.2	6.6	9.1	14.0	1.0	8.5	1.9	2.2	0.7	2.7
医会役員 発達関連		4.0	5.3		0.2	4.0	0.1	2.1	0.7	1.4

川崎市全体 10403人/令和5年度

小児科医会医役員 1088人/令和5年から6年

- 発達上の配慮を必要とする子どもの割合
川崎市:3% (相談機関+保育園・幼稚園+地域みまもり)
役員機関:14.5%(分母は全件数1088件-治療中44件=1044件)
・・・川崎市と同じ集計では5.6% 発達関連全体(治療中も含む)17.8%
- 川崎市全体の予想(各項目:発達/全体で概算)7.4%
- 役員の施設での発達上の配慮を必要とする子どもの割合について
8.0%~36.8%の幅があった 10%未満の医療機関6施設 10~20%未満4施設
20~30%未満4施設 30%以上1施設

5歳児健診フォロー体制



川崎市子ども未来局児童家庭支援虐待対策室母子保健担当作成

5歳児健診と関係機関との連携について

- 各区役所地域みまもり支援センター地域支援課(7区役所+2支所)
各区年2回程度区と子ども発達と療育センターと意見交換会を行っている。
(区から各機関に紹介した児のフォロー状況の確認や各機関の役割等の共有。)
- 子ども発達・相談センター(市内7か所)(健康福祉局)
各区年2回程度区と子ども発達と療育センターと意見交換会を行っている。
(区から各機関に紹介した児のフォロー状況の確認や各機関の役割等の共有。)
- 市内療育センター(市内4か所)(指定管理)
各区年2回程度区と子ども発達と療育センターと意見交換会を行っている。
(区から各機関に紹介した児のフォロー状況の確認や各機関の役割等の共有。)
- 各所属(保育所、幼稚園等)年1回ほど、各区の園長会等を活用し、健診の周知や報告を行っている。
- 総合教育センター(教育委員会)(2か所)年長さんから相談利用が可能
- 川崎市医師会 乳幼児健診の研修会(年1回) 乳幼児健康診査の検討会(年1~2回)
かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

乳幼児健診研修会

乳幼児健診を受託するには最低年1回指定された研修会・事業説明会に出席しなくてはならない

令和5年度	神奈川県立こども医療センター 大山敬子先生 「食べること多いがやることへの対応」
令和4年度	あまやま子どもクリニック 院長 秋山千枝子先生 「乳幼児健診の実践」
令和3年度	こにし・もりどね眼科 院長 小西美奈子先生 「乳幼児健診における基本的な態所見の取り方と解釈」
令和2年度	国立成育医療研究センター こどもの心療部 小枝達也先生 「5才児健診で気づくちょっと気になる子どもたち」
令和元年度	おかたこどもの森クリニック 院長 岡田邦之先生 「乳幼児健診で知っておきたい事故と虐待のこと ～チャイルドデスレビューを含めて～」
	かなおか小児科クリニック 院長 片岡正先生 「かかりつけ医の発達障害への対応と理解 ～乳幼児健診を中心に～」
平成30年度	①聖マリアンナ医科大学小児科学教室 教授 山本仁先生 「地域連携から見る児童虐待防止への取り組み」 ②星川小児クリニック 院長 山本淳先生 「乳児期早期からはじめる食物アレルギーの予防 ～離乳食のすすめかたを見直してみよう～」
平成29年度	①吉永小児科医院 院長 吉永隆一郎先生 「小児科クリニックでの乳幼児健診の実践」 ②国立成育医療研究センター こころの診療部 部長 奥山真紀子先生 「医療機関における子ども虐待への取り組み」
平成28年度	前橋赤十字病院 小児科部長 溝口史剛先生 「疾病としての子ども虐待」
平成27年度	①かずえキッズクリニック 院長 川上一恵先生 「たかが便秘、されど便秘」 ②かずえキッズクリニック 院長 川上一恵先生 「乳幼児健診で母親たちが知りたがること」
平成26年度	①横浜国立大学附属病院小児科 教授 西巻道先生 「最近の胎児環境から新しい子育てを考える」 ②社会福祉法人キャマロード みどりの家診療所 所長 三宅捷太先生 「子育てをめぐる現状と乳幼児健康診査」
平成25年度	①終園こどもクリニック 院長 山中聡先生 「障害予防への科学的アプローチ」 ②公益社団法人発達協会 王子クリニック院長 石崎朝生先生 「発達障害児にどのような対応するのかについて」
平成24年度	①Rabbit Developmental Research 代表 平岩幹男先生 「乳幼児健診で気をつけたいこと」 ②日本医科大学武蔵小杉病院 産産科小児医療センター講師 藤田武久先生 「乳幼児健診でみられる境界児」
平成20年度	順天堂大学医学部 小児科学講座 主任教授 清水俊明先生 「小児の栄養と成長・発達 一投乳支援の立場から」
平成19年度	鳥取大学地域学部 地域教育学科 発達科学教授 小枝達也先生 「軽度発達障害児への気づきと支援 -5歳児健診の有効性について-

かかりつけ医発達障害 対応力向上研修

令和5年度	新百合ヶ丘総合病院 小児科・発達神経学センター 下郷幸子先生 「発達障害の理解と支援」
令和4年度	川崎市中央療育センター 宮下俊之先生 「発達障害のある子の療育と支援 -発達障害者支援研修から-」
令和3年度	川崎市北部地域療育センター 水谷修紀先生 「発達障害について考える」
令和2年度	川崎市西部地域療育センター 所長 柴田光規先生 「発達特性を持つ子と保護者の理解と支援」
令和元年度	かたおか小児科クリニック 院長 片岡正先生 「かかりつけ医の発達障害への対応と理解 ~乳幼児健診を中心に~」
平成30年度	①川崎市小児科医会 会長 鈴鹿隆久先生 「かかりつけ医発達障害対応力向上研修~現場の立場から~」
	②南部地域療育センター 通園園長 小島久美子先生 「川崎市地域療育センターの現状」

川崎市子ども発達・相談センター (きっずサポート0000)



きっずサポート

相談支援

- 行動観察・適応評価
- 対応方法の提案
- 施設サービスの案内

かもみー

- 子育てサロン
- 学童グループ
- 保育園・幼稚園・学校等への支援
- 指定発達障害支援事業

相談窓口の連携

発達障害児の相談と相談員の連携

保育園・幼稚園・学校等

アクセス

きっずサポート かわさき
川崎市川崎区南町1-11 平野ビル6階
TEL 044-599-8027 FAX 044-599-8068

かもみー かわさき
川崎市川崎区南町1-7-5 タカシビル3階
TEL 044-599-8001 FAX 044-599-8002

きっずサポート さいわい
川崎市川崎区南町1-7-5 タカシビル3階
TEL 044-276-7127 FAX 044-276-8027

かもみー さいわい
川崎市川崎区南町1-7-5 タカシビル3階
TEL 044-276-8010 FAX 044-276-8027



川崎市
子ども発達・相談センター
きっずサポート
とは？

お子さんの発達に関する相談に際して、適切な支援やサービスを提供することを目的としています。

発達障害のあるお子さんやご家族、保護者のために、必要に応じて適切な支援やサービスを提供いたします。

発達障害のあるお子さんやご家族、保護者のために、必要に応じて適切な支援やサービスを提供いたします。

発達障害のあるお子さんやご家族、保護者のために、必要に応じて適切な支援やサービスを提供いたします。

発達障害のあるお子さんやご家族、保護者のために、必要に応じて適切な支援やサービスを提供いたします。

川崎市
子ども発達・相談センター
社会福祉法人川崎希社会福祉事業団

川崎市こども発達・相談センター (かもみーる〇〇〇)

相談支援

電話やFAXでご相談内容を伺い、相談日を調整します。
 医師で相談員が話題を伺い、保護者の方と一緒にお子さんに必要な対応方法や福祉サービスの利用を考えます。
 後日、支援方針を交付します。
 ※主治医とは、お子さんの健康な発達の方向を整理し、まとめることです。お子さんに合った対応方法や対応できる福祉サービスについてご説明しています。福祉サービスは関係機関と連携して一時的な対応は可能ですが、継続的に応じて、長期的、継続的に取り組む必要があります。お子さんに合ったサポートをするためのものです。

対象
 川崎区・南区にお住まいの発達に関する相談を希望される18歳未満のお子さん
 とその保護者（お住まいの区のきつずサポートにご相談ください）

■ 開 業 日 月・火・水・木・金曜日（祝日・年末年始を除く）
 ■ 受付時間 8:30～17:00 ※電話は予約制になります。

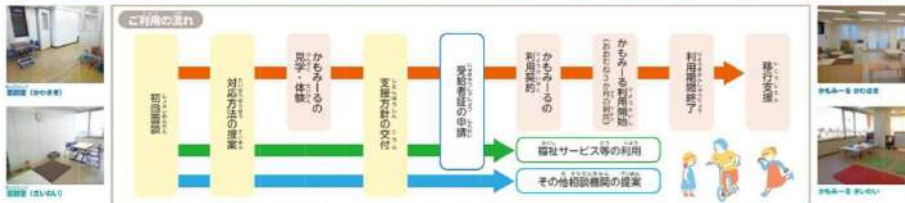
かもみーる

指定児童発達支援事業
 グループ活動の中で、お子さんの発達や特性に合わせたサポートを考え、保護者の方や所属先へご提案します。

■ 業 務 日 火・水・木・金・土曜日（祝日・年末年始を除く）
 ■ 受付時間 8:30～17:00（土曜日は8:30～12:00）
 ■ グループについて お子さんの年齢に応じたグループを設定します。1回の活動は2時間です。
 ■ 利用時間 おおむね3か月、通1日の利用
 ■ 利用対象者 未就学児（ただし、きつずサポートへご相談された方に限りです）
 ■ 利用料について 原則に当たった利用料負担は就労・収入に応じて軽減が可能です。

子育てサロン（保護者対象）
 いろいろな悩みを相談しながら、育児や遊びのアイデアを交換しあえます。子育てサロン、学習発表会等は、毎月開催しています。詳しくは活動案内の冊子、又は相談室にご確認ください。

伊豆崎のグループ
 区内でのゲーム遊び、工作など、発達支援と一緒に楽しんでもらえます。



5 歳児健診

川崎市こども未来局のまとめ

■ 個別健診のメリット

- 個別なので、日頃の様子を知っているかかりつけ医で見てもらえること。
- 保護者の事情に応じて受診しやすいこと。
- 集団健診では、配慮を必要とするお子さんや保護者が受診しにくい状況もあるので、個別の状況に応じやすい。
- 集団健診より医師を確保しやすい

■ 個別健診の課題

- 集団健診に比べ、予算額が高くなる。（6260円/人 国の補助：3000円/人）
- 診査項目が多いので、1人当たりの診察時間がかかる。（1人あたり15分を想定）
- 相談機関に行けたかの把握が難しい(ワンストップでの相談にはならない)
- 質の担保やサービスの均一化という視点では、医師に対する研修会は必要である(集団であれば行政職員がフォローが可能)
- 紹介先を明確にすること、相談支援のフォローの流れを示す必要がある
- 保育所、要支援の相談を勧められた場合、保護者が的確に相談内容が伝えられるのか。
- 1歳半健診や、3歳児健診の結果が母子健康手帳の記録だけではわかりにくい。(PMH開始で解決できるか?)
- フォローが必要な方への連絡が取りにくい(電話が繋がらない等)
- 直接保健師が指導をしていないので、(子どもを直接見えていないので)保護者の意見や受け止めによっては、相談機関につながらない場合もある。

5歳児健診

川崎市こども未来局のまとめ

- **その他本市の課題(これから整備が必要なこと)**
- 健診の結果を入力する健康管理システムとの整合性が取れておらず結果の集計や分析が十分に行えていない。
- 医師が気になったお子さんのその後の状況の把握や共有が難しい(そういう仕組みがない)
- 個別支援を通じて、情報共有や支援を関係機関は行っているのですが、5歳児健診を入口としたフォローアップ全体の全体図のようなものがあるとよいのかな
- 5歳児健診以降の、支援機関で行われている**フォロー状況の共有が行えていない**。(支援が必要な個別のケースは関係機関で行えています)
- **母子保健分野と障害児福祉分野との情報共有や課題の共有が必要(市役所内関係部署の連携強化)**
- 受診率が他の健診に比べ低いので、健診の目的等の普及啓発を強化が必要・保育所や幼稚園等との連携
- 教育分野との連携
- 児童精神科や児童発達支援との連携

ご静聴ありがとうございました